

## 令和5年度裾野市地域公共交通活性化協議会協議事項について

---

令和5年度の協議事項の主な内容を抜粋。

### 1. 第1回 令和5年6月22日

- ・裾野市地域公共交通活性化協議会要綱等の改正について  
事務局が戦略推進課から都市計画課へ変更。
- ・裾野市公共交通計画について  
計画期間は令和5年度から令和9年度

### 2. 第2回 令和5年10月6日

- ・岩波循環線の利用状況について  
利用者が少ない。収支率も低い。  
岩波線の継続については、継続なのか一部廃止なのか、検討していく。
- ・裾野市内循環線の利用者調査等について  
(モビリティ勉強会での取り組み)  
6月に市内循環線バスに乗りこみ利用者アンケートを実施。8月に実際の利用者に集まっていたき、対話集会を実施した。
- ・バス運行事業者による路線バス事業の現状等について  
バス運賃の改定をした。2024年問題で、運転手不足がおこり路線バスの便数を減らすなどして維持していく。

### 3. 第3回 令和6年1月16日

- ・退出申し出路線について  
須山線の2区間について。帝人アカデミーに乗り入れている区間について、帝人アカデミーの営業終了にともない退出。中今里の区間について、通学を想定して設置していたが、10月まで利用者がいなかったため、退出。
- ・単独継続困難申し出路線について  
須山線、桜堤線については、運転手不足に対応するため、減便。小・中学生の通学利用を維持。
- ・市自主運行路線岩波駅線（岩波駅循環線）について  
令和6年3月末で自主運行路線岩波駅循環線の運行廃止。
- ・裾野市内循環線について  
バスの実際の利用者から聞き取りをして再編の素案を検討。  
ルートとしては、東西ルート・南北ルート。ただし、大きく路線を変えるのではなく、循環型を往復型にかえていきたい。今後の方針は、令和6年10月の再編実施を目標として、令和6年4月から再編案をベースとした試験運行を一部で実施。現行の3便の前後に1本ずつ追加する。